

## ①「鉄道プロジェクトの評価手法マニュアル2005」の改訂の必要性

- 新たにマニュアルの対象とすべき列車遅延・輸送障害対策及び地域鉄道の利便性向上に係る事業が創設され、それに対応した新たな評価手法の検討が必要。
  
- 事業評価に関する指針が改定されたほか、新たな指針も策定。
  - ・「公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針(平成21年6月国土交通省)」の改定を受け、二酸化炭素の貨幣価値原単位等の数値更新が必要。
  - ・「仮想的市場評価法(CVM)適用の指針(平成21年7月国土交通省)」の策定。
  
- 新規事業採択時評価、再評価及び事後評価の実施事例が蓄積され、評価の実務上の課題が顕在化。
  
- 東日本大震災を踏まえ、安全・安心の観点から、鉄道プロジェクトの評価について検討が必要。



「鉄道プロジェクトの評価手法マニュアル2012」の策定

## ② 平成23年度の調査スケジュール（案）

